

2009年3月30日

日本OSS推進フォーラムの活動方針

日本OSS推進フォーラムは、OSS(オープンソースソフトウェア)の活用上の課題について自由な立場で議論し、課題解決に取り組む団体として、2004年に発足しました。

この活動は、幹事団顧問団への参加企業およびステアリングコミッティ参加企業も含め、50社にのぼり、さらに個別に議論に参加する企業や北東アジアOSS推進フォーラムによる中国、韓国との連携と活動の範囲が拡大しています。

同フォーラムでは、OSSをコアとしながらも、各社が協調可能な領域において、企業の壁を越え、自由な立場で相互に意見交換する、「オープンな活動スタイル」を取り入れて発展してきており、このような場を形成したこと自体が大きな成果のひとつといえます。

今後は、この活動スタイルを基礎に、OSSに関する課題解決の活動を継続しつつ、さらに今後発展する可能性のある最新のトピックを取り入れ、協調活動が可能な領域について調査研究、議論を行い、共通認識の形成や認知の共有、政府への提言などとしてとりまとめ、産業界全体の発展に寄与していきます。

【日本OSS推進フォーラムの活動内容】

- ・OSSに関する調査および研究開発
- ・新たな技術領域におけるOSSの位置付け、取り扱いに関する調査研究
- ・OSSに関する関係官公庁、諸団体との連絡調整・連携の実施
- ・OSSに関する総合的普及啓発宣伝
- ・海外とのOSSに関する諸連携活動
- ・OSS普及促進のため、関連諸団体との連携活動
- ・OSSに関わる産業の総意を代表してのその意見の公表又は具申の実施
- ・OSSをコアとした新たな技術領域に関する調査研究
- ・その他、本フォーラムの目的を達成し、これを継続するために必要な活動

【設立】

2004年2月

【発起人】

株式会社NTTデータ 株式会社日立製作所 ソニー株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社 日本電気株式会社 富士通株式会社

日本OSS推進フォーラムの活動方針

- OSSをコアとし、企業相互の協調領域の議論を「オープンな活動スタイル」で推進する場
 - ・企業の壁を超え、産業界の発展に向け自由な立場での意見交換を実現
 - ・OSSに関する課題解決の活動を今後も継続
- 市場のトレンドから出現する新潮流とOSSの接点を議論し、共通認識形成・認知共有、政府提言のとりまとめを推進

